

東日本大震災に思う



エヴァーグリーン・
ドッグ・フィールド
代表 森 一彦

得なかつた方も大勢いらっしゃると思います。

日本獣医師会や愛玩動物飼養管理士会、犬種別の任意のボランテア団体などはレスキュー活動を行っています。立ち入り禁止区域までレスキューに出かけることは困難な事です。筆者が仄聞するところでは、浪江町の立ち入り禁止区域内から、ボランテアの同行を得て、悪路を走破して愛犬を連れ戻してきた飼い主もいたとか？まさに命がけの救出劇です。

又、避難所でボランテア活動を行っている方の話では、犬の飼い主の方々は他の避難者に遠慮して、車の中で生活されている方が大多数で、「何とかワンだけでも預かっていただけられないものか？」と「ワンと一緒に避難できる施設はないでしょうか？」との相談が多いそうです。

3月28日付けの日経コラムの「春秋」によれば、「ルームドナー」という、被災者を自宅に受け入れたいという人が登録するサイトが立ち上がり、すでに9000室が登録され、その中にはペット同伴OKの物件もあるそうです。類似のサイトもネット上にいくつか生まれつつあり、刻々と善意が積み重なっていく様子が見取れます。

又、地震発生時に一人で留守番をしていたワンも多かった事と思いますが、突然の大地震、部屋中に物が飛び散る中、



夢ならば早く覚めて欲しいと願わずにいられない東日本大震災から一ヶ月が過ぎましたが、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く平穏な生活を取り戻されることをお祈り致します。EDFは大ドッグランに亀裂が入って使用不能になっていますが、センターハウスと中&小のドッグランは損傷もなく4月1日より正常営業をしています。

今回の大震災は原発事故を誘発し、2次災害の様相を呈していますが、地震と津波に襲われた相双・いわき地区の皆様は、自分自身が避難するのが精いっぱい、心ならずも自宅にワンを残さざるを

パニックを起こさないのが不思議なくらいです。このような時、愛犬を守る一番良い方法は、普段からクレート（いわゆるバリケンと呼ばれる物）の中で留守番をさせる習慣を作っておくことです。普段から、クレートの中で留守番をしたり、車での移動の際にはクレートに入る習慣を付けておけば、地震の際にワンが怪我をする危険性を相当数減らすことができます。ボランテアの方もクレートトレーニングができているワンは預かり易いでしょうし、ワンとの避難所生活も少しは楽なものになるでしょう。

実際、今回の地震発生時、クレートの中に居たワン達はその後の余震に対するトラウマも少ないように思われます。又、今回の地震では施設していたはずの力が外れて扉が開いたり、サッシが外れたりしてワンが屋外に逃げ出したケースも多数ありましたので、室内飼いのワンでも犬鑑札は必ず首輪へ付けておくべきでしょう。とにかく想定外のこと色々起きた今回の体験から、我々が学ぶべきことはたくさんあると思います。

遊ぶ 学ぶ かかわり合う...Wan倶楽部
Evergreen Dog Field
ドッグラン・ドッグカフェ・飼い方相談
福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分
024-994-0811 | エヴァーグリーンドッグフィールド [検索](#)
福島県19郡保健第21号・訓練第5号(有) Evergreen Dog Field
登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森 一彦